

2024年1月 瀬戸内アート研修

第1 概要

1 本事業名は、以下のとおりである。

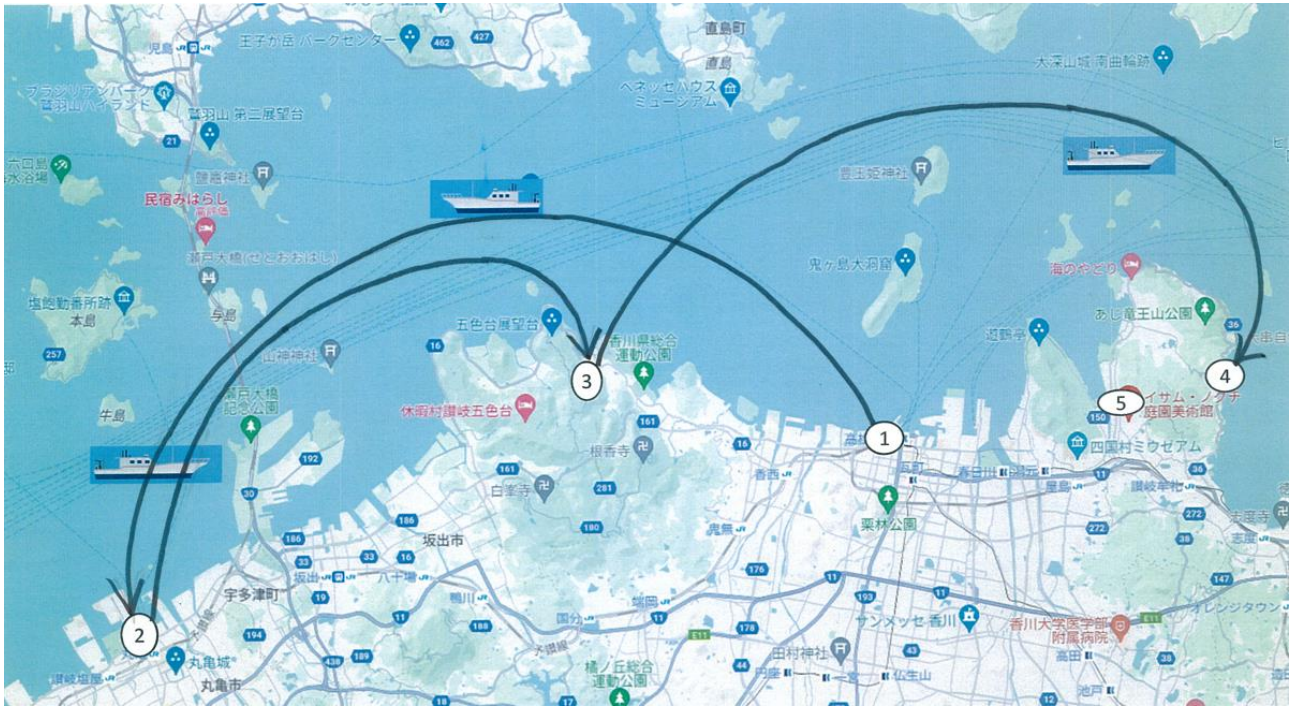
- ・実施主体名 香川デジタルファクトリー事業協同組合
- ・事業名 「香川県のアートと伝統産業に触れるツアー造成事業」
- ・「瀬戸内アート研修」であり、今井龍二氏がコーディネーターガイドとして、2023年度の観光庁の補助事業です。

講師&コーディネーター・プロフィール

今井龍二	香川県立丸亀高校卒業/日本大学芸術学部卒業 映画監督・映像作家 一般社団法人 日本映画テレビ技術協会 会員 一般社団法人 天体望遠鏡博物館 会員 「うたんぐら 映画上映会」主宰 香川デジタルファクトリー事業協同組合所属映像監督として数々の作品を手がける 四国学院大学にて11年間教鞭をとる
------	--

集合場所





第2日目 2024年1月23日(火)

瀬戸内アート研修2日目「クルーザーによる瀬戸内海美術館巡りツアー研修」

時間：8時30分 サンポート集合／16時 サンポート解散

ナビゲーター：今井龍二

通訳案内士：古川氏

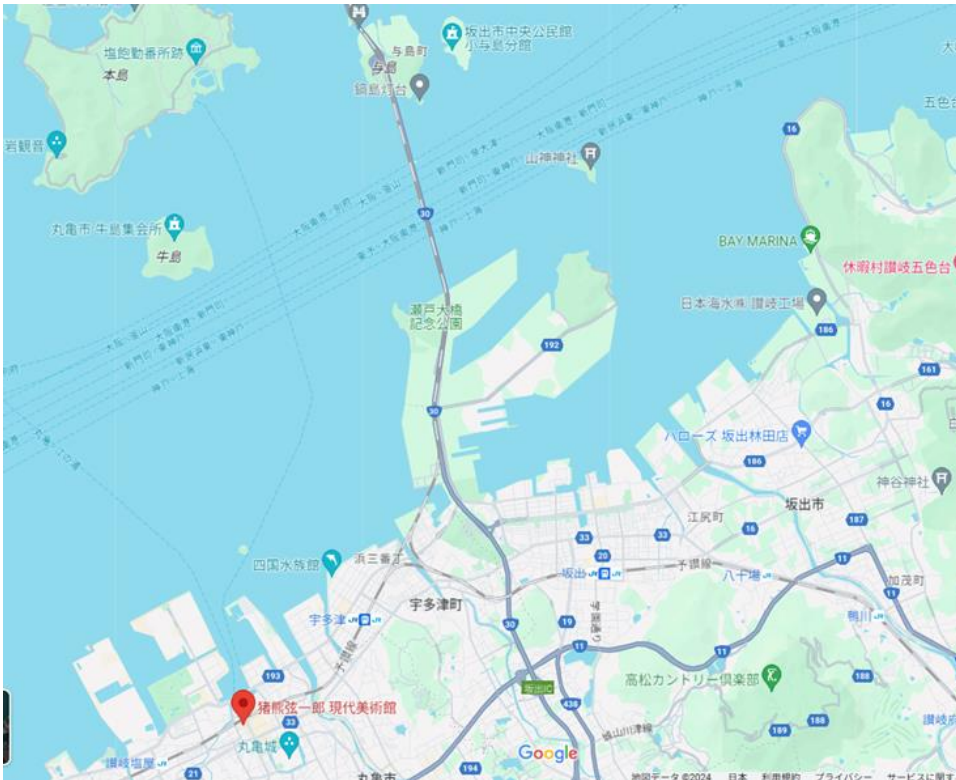
行程：高松港を出て、美術館4つを巡る。

時間	行程	摘要
8時30分	サンポート高松 集合	高松港（サンポート）高速船きっぷ売り場場内待合所
8時45分～9時 50分	クルーズ 65分	高松港を出て、名勝五色台を回る航路で丸亀へ。途中、瀬戸芸会場の島々を巡る。 瀬戸大橋の景観が素晴らしい。
10時～11時	①猪熊猪熊弦一郎現代美術館 MIMOCA	丸亀市ゆかりの画家、猪熊弦一郎の全面的な協力のもと1991年に開館。設計は谷口吉生。 猪熊本人から寄贈を受けた約2万点の猪熊作品を常設展示にて紹介するほか、現代美術を中心に年数回の特別展示を開催している。 ※10時開館

11時10分～ 11時40分	クルーズ 30分	猪熊弦一郎現代美術館（丸亀）から、川島猛～（五色台）へ
11時40分～ 12時30分	②川島猛アート ファクトリーミ ュージウム	<p>20世紀後半のアメリカ N.Y.はモダンアートの大きな渦のど真ん中。綺羅星のように登場したアーティスト達の中、1963年に新天地を求めて飛び込んだ川島猛（当時33歳）。会派、団体に属さず、憧れの猪熊弦一郎氏もいる N.Y.マンハッタンは、その後2016年の帰国まで川島にとってアートの戦いの場であった。</p> <p>53年を経て、故郷で残りの制作活動をしたいという思いと、海の見える工場跡という出会いが帰国を決意し、ここ川島猛アートファクトリーの実現になった。</p> <p>2016年2月、彼が N.Y.で制作した作品と、生活を共にした身の回りの品々が一緒に帰ってきた。一つ一つが53年間の足跡である。</p> <p>川島猛アートファクトリーは、川島の制作活動の拠点でもあり、作品保管庫であり、何よりも作品ギャラリーである。ここでは、今も作品制作の営みが行われ、制作への思いを聞くことができる。昭和から平成へ日本が辿った時代変換と N.Y.からの視点の交錯。そこから生まれた人間讃歌の作家哲学は川島のアートを通じたメッセージでもある。その意味を、多くの方々に伝える目的で財団法人化し、郷里と地域社会と次世代の皆様へ発信する。</p> <p>多くの人々が川島の SOHO のアトリエを訪問し、たくさんの人生の刺激と感銘を受けた年月がある。今後、アートファクトリーで、同様の交錯が起こることを願いたい。</p> <p>https://kawashima-af.com</p>
12時30分～ 13時30分	クルーズ 60分	船上で各自お弁当持参食
13時30分～ 14時30分	③NAGARE STUDIO 流政之 美術館	<p>世界的彫刻家 流政之は、刀鍛冶、装丁家、零戦パイロットなどの経歴をもつ。彫刻だけにとどまらず作庭や陶芸、家具デザインなど、多彩な造形においても独自の技法やスタイルを確立した作家でした。</p> <p>ここは流政之の哲学、美学を背景に築いた制作活動を語る上で欠かすことのできない場、流の感覚が集結した場所といえるでしょう。限りなく流の暮らしていたままの空気を残し公開している。</p>
14時30分～ 14時50分	自動車移動 20分	

15時～16時	④イサム・ノグチ庭園美術館	<p>20世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチは、モニュメント、庭や公園などの環境設計、家具や照明のインテリアから、舞台美術までの幅広い活動を行った、きわめてユニークな芸術家です。1956年、初めて庵治石の産地である香川県の牟礼町を訪れたノグチは、1969年からは五剣山と屋島の間にあるこの地にアトリエと住居を構え、以降20年余りの間、NYを往き来しながら石の作家である和泉正敏をパートナーに制作に励みました。</p> <p>イサム・ノグチ庭園美術館は、この地が未来の芸術家や研究者、そして広く芸術愛好家のためのインスピレーションの源泉になることを強く望んでいたノグチの遺志を実現したものです。150点あまりの彫刻作品はもとより、自ら選んで移築した展示蔵や住居イサム家、晩年制作した彫刻庭園など、全体がひとつの大きな「地球彫刻」、あるいは環境彫刻となっています。出来る限り、生前の雰囲気そのまま環境そのものを公開し、専門的な調査・研究のためのアーカイブ（資料研究空間）となっております。ジャンルを超えた宇宙的でコスモポリタンな、開かれたノグチの世界像を心ゆくまで味わっていただきたいと思います。</p>
A 16時39分→17時11分	電車移動	琴電：八栗駅→高松築港駅 ※琴電瓦町駅経由
B 17時12分→17時48分	バス移動	ことでんバス：祈り岩・与一公園前(バス停)→高松築港駅(バス停)

①猪熊源一郎現代美術館



②川島猛アートファクトリーミュージアム



③NAGARE STUDIO 流政之美術館

④イサム・ノグチ庭園美術館

